

支援を必要としている子どもたちは病気ではないのか？

支援が必要な子どもたちや凸凹と呼ばれている子どもは、専門医の診断確定要件のすべてを満たしていないため発達障害と確定した診断が受けられないものの、診断要件の一部に付いては要件を満たしている可能性も十分に考えられる。最近の文科省の発表では最低でも通常級在籍の8.8%の子どもにこれらの兆候が見られることから、相模原市内の小学校だけでも通常級に在籍する生徒のうち約3,000人の子どもが何らかの支援を待っています。支援級や情緒級などに属する子どもが約1,650人ですから、いま支援を受けられている子どもの約2倍の子どもたちが通常級で苦しんでいる計算になります。しかし、表面的には確定診断が受けられていないことから全ての日常生活に対し、基本的には通常級の子どもと同様の結果を求められてしまうため、診断を受けている子どもよりも人知れず苦しんでいる場合も多いと思われます。「大人の発達障害」なども耳にしますが、それらは子どものときに確定診断を受けられなかった人が、社会人になってから会社や仕事、人間関係に馴染むことができず、精神科などを受診した場合などに診断されることから「大人の発達障害」と呼ばれています。あくまでも先天的なものです。

目標は「教育を通じ子どもたちが平等に豊かになること」

教育は世界中のどこであっても豊かになるための基本となり、必要不可欠なものです。ここでの豊かさとは心の豊かさと経済的な豊かさの両方を指しています。心の豊かさとは自分本位ではなく周りの人たちの幸せも望むことができる思いやりや、他人の気持ちに寄り添うことができる優しさです。また、経済的な豊かさとは贅沢をするという意味ではなく、毎日の生活が心配することなく暮らしていく状態を指しています。経済的な豊かさは、大人が中心に考え子供に与えることになりますが、心の豊かさは子供のころからの経験から育まれます。子供の頃の勉強や経験が心の育成に大きく影響するからです。幼少期にどのような教育を受け、どのような大人と関わって来たかがその子の将来を大きく左右することになります。だからこそ、子供に平等な教育を受けさせることはとても重要なことであり社会の責任と考えています。

～広報「すかもだより」発行しています～

過去の学習困難児研究会の広報誌を発行しています。
今までのすかもキッズの活動に興味がある方は
一読いただけるとより一層すかもキッズ
の活動を理解していただけることと思います。



【お問い合わせ】



特定非営利活動法人 すかもキッズ
〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台6-18-1
TEL: 042-813-8558 (SweetEggs 近く)
mail : enishikawa@sugamokids.or.jp

【ご協力頂いている企業・団体】※敬称略

公益財団法人斎藤茂昭記念財団 公益財団法人かながわ生き生き市民基金



株式会社 育伸社 横浜営業所 有限会社 開成図書出版 中央教育研究所株式会社 株式会社プロッサム 横浜営業所

NPO 法人 メダカのお弁当 教育開発出版 株式会社 横浜営業所 株式会社 富士産業 株式会社 ユニックス

NPO 法人 ぴあっと 株式会社 tassa 開成企業 株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー 横浜営業所



ご支援を

NPO 法人「すかもキッズ」は、皆さんに支えられて活動しております。

お願いいいたします。